



くしろ市 社協だより

URL: <http://www.kushiro-city-shakyo.or.jp>

メールアドレス webmaster@kushiro-city-shakyo.or.jp

本所・釧路支所 〒085-0011 釧路市旭町12番3号 釧路市総合福祉センター内
(代表) TEL 0154(24)1565・FAX 0154(23)3776

阿寒支所 〒085-0215 釧路市阿寒町中央1丁目7番12号
阿寒町保健・福祉サービス複合施設ひだまり内
TEL 0154(66)4200・FAX 0154(66)4300

音別支所 〒088-0115 釧路市音別町本町3番50号 音別町社会福祉会館内
TEL 01547(6)2941・FAX 01547(9)5450

ボランティア体験学習 出前講座を実施してます!



共栄小学校での障がい者スポーツ体験授業(種目:ボッチャ)

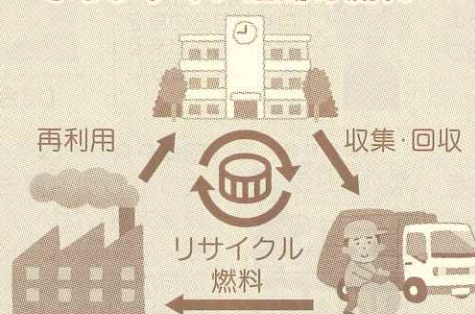
釧路市社会福祉協議会では、福祉活動やボランティア活動について知りたい、学びたいというご要望に応じて、職員やボランティアを講師として派遣し福祉教育を進めています。車いす体験や高齢者疑似体験、視覚障がい体験、障がい者スポーツ体験など様々なプログラムがあります。

学校での「総合的な学習の時間」や各団体での研修など、地域住民の方々の様々なご要望に応じて実施してまいりますので、お気軽にご相談ください。

福祉教育協力校 収集ボランティア推進事業

収集ボランティア活動推進事業は誰でも取り組めるボランティア活動として、平成27年度より始めました。集められたエコキャップやリングブルを、株式会社 山捨 村上商店さんのご協力のもと回収していただき、収益金で車いすを購入し、市内施設へ寄贈されます。

～エコキャップ収集 ボランティア活動の流れ～



【協力いただいた学校紹介】



釧路労災看護専門学校さん

【お問い合わせ先】ボランティアセンター釧路 Tel.0154(24)1648

この「社協だより」は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。



わがまちの地域活動♪ 『清明小学校 えがおのまちプロジェクト』

えがおのまちプロジェクトは、清明小学校を拠点に緑ヶ岡・貝塚地区の地域住民が活動しています。このプロジェクトは、地域にある関係団体が「明るく元気なまちにしよう」という思いから立ち上がりました。清明小学校の挨拶運動をはじめ、地域や学校の行事に、地域住民や児童が相互に参加する取り組みを行っています。

～緑ヶ岡・貝塚地区社協～ 高齢者配食事業

緑ヶ岡・貝塚地区社協では毎年11月23日の勤労感謝の日
に75歳以上の一人暮らし高齢者のお宅へ伺い交流を通して
元気になっていただくことを目的に、配食活動を行っています。
清明小学校の1年生から3年生までの児童が作成した絵
手紙と共にお弁当を配布しています。

えがおのまちプロジェクトでは、1年生の授業に訪問し、
絵手紙の作成をしました。地域のおじいちゃん・おばあちゃん
に向けてのメッセージは毎年喜ばれています。

コロナ禍により、今年度は子供たちが直接手渡しをするこ
とが出来ませんでしたが、絵手紙を通しての交流は続いてい
ます。



地域のおじいちゃん・おばあちゃんへ元気で長生きしてね！
心のかもった手紙と素敵な絵、折り紙をたくさんいただきました！

～清明小学校～ 昔遊び



1年生の生活科の授業にて、えがおの
まちプロジェクトのメンバーが『地域先
生』となり、昔遊びを行いました。

コマ、竹とんぼ、おはじき、めんこ、
お手玉…今の子供たちにとってはなじみのない遊びもあり、
昔からの遊びの楽しさや面白さに気付き、夢中で楽しむ姿が
見られました。回すことに苦戦したコマ
回しも、地域先生から教わることで上手
にできるようになったり、紙で作った竹
とんぼを何度も飛ばして喜ぶ姿など、楽
しい時間を共有しました。



地域先生は昔遊びの達人♪
おはじきにお手玉、めんこ…たくさん教えてくれました！

釧路市のボランティア情報 No.1

釧路市ボランティアセンターには様々なボランティア団体が登録をし、活動を行っております。今回は、登録を
している団体の中から、子ども共育支援「ミライエ」さんの活動を紹介いたします。

子ども共育支援「ミライエ」

子ども共育支援「ミライエ」とは…？
ミライエは平成24年11月に発足し、子
どもたちの成長を支援している団体です。
地域の子どもたちが安心して生活できる環
境づくり、また、そのための安全な地域づ
くり力を入れています。



小さい子どもでも
楽しく学べるよう
に防犯人形劇を作
りました。子ども
自身が自分の身を
守る行動が出来る
ようになってほし
いです！



【総合学習の支援】



【防犯人形劇「いかのおすし」】

団体の主な活動

- ・釧路管内の小・中学校での総合学習の支援
- ・学校や施設でのボランティア活動
- ・学校図書室の図書整理
- ・低学年向けの防犯啓蒙活動
- ・防災活動…等



団体PR

ミライエの「共育支援」という言葉の意味には、共に育んで成
長を支援したいという気持ちが込められております。そんな
思いに賛同している会員は約20名おり、仕事も立場も違う者
たちが『自分の出来る』活動を行っています。
『自分の出来る』を「ミライエでもやってみたい」と思う方がお
りましたら、ぜひお待ちしております。

ボランティア活動がしたいという方は…？ ボランティアセンター釧路 TEL：24-1648

共同募金だより

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

釧路市共同募金委員会

〒085-0011 釧路市旭町12番3号 TEL0154(24) 1565



R2募金運動 最終実績報告

74回目の共同募金運動を無事に終えることができました。赤い羽根共同募金・市民歳末たすけあい募金の両運動に対して地域住民の皆様、商店・企業・学校や各種団体、サークルなど多くの釧路市民よりご理解と多大なるご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

赤い羽根共同募金



12,670,349円

目標額	17,092,000円
目標達成率	74.1%
前年度対比	82.2%
街頭募金	785,354円
戸別募金	3,406,381円
法人募金	4,230,146円
その他募金	4,248,468円



市民歳末たすけあい募金



1,495,858円

目標額	1,800,000円
目標達成率	83.1%
前年度対比	93.3%
窓口募金	309,011円
職場募金	1,186,847円

ご協力ありがとうございました

募金バッジで864,562円が募金に!

令和2年6月から推進してまいりました本年度の赤い羽根募金バッジ、皆様のご協力により2,951個のご協力を賜り、結果として864,562円が募金に繋がりました。本当にありがとうございました。次年度に向けても新しいデザインで、作成の準備に入っておりますので、引き続きご協力よろしくをお願いいたします。(本年6月完成予定)



左からタンチョウ・タンチョウ羽ばたき・タンチョウSL・エゾクロテン、いずれも葉山のデザイン事務所『Sankofa』さん(釧路市出身)のデザインです。

市民歳末たすけあい募金の助成金を交付!

令和2年度 市民歳末たすけあい募金助成金交付式を令和3年1月29日(金)に行い、総額1,422千円の助成金を交付させていただきました。助成金は児童福祉施設や障がい者施設を中心に交流事業、生活困窮者支援や地域食堂支援に活用されました。

- 児童福祉施設 (1施設・160千円)
- 障がい者施設等 (11施設・440千円)
- グループホーム (23施設・372千円)
- 生活困窮者支援 (1団体・300千円)
- 地域食堂支援 (2団体・60千円)
- 歳末募金経費(90千円)



就職応援!

釧路市福祉人材バンク無料職業紹介所

福祉人材バンクは社会福祉法に基づき設置された機関で、社会福祉事業に従事しようとする方への就業相談を中心に各種事業を行っています。また、厚生労働大臣の許可を得た福祉の無料職業紹介所として、求人事業所と求職者を繋ぐ橋渡しをしています。個別にきめ細やかなマッチングを心がけています。

求人を出したい事業所の方、福祉の仕事を考えている方、お気軽にご利用ください。

【無料職業紹介事業】

- あっせん対象事業所
- 介護保険・障がい者福祉事業他
- ※取り扱い対象者の範囲、あっせん対象事業所範囲の詳細はお問い合わせください

【お仕事相談】

- 就職・資格についての相談
- 職場体験のコーディネート

【福祉職場説明会の開催】

- 福祉事業所担当者と直接面談し、就職に繋がるお手伝いをしています

【研修会の開催】

- 求職者向け講習会
- 事業所向けセミナー



Webでカンタン登録!
『福祉のお仕事』で検索
URL
<https://www.fukushi-work.jp/>

さあ、福祉のプロを目指そう!



☎(直通) (0154)24-1686
ご相談・お問い合わせ 午前9時~午後5時(平日)

★在宅福祉課のキラキラ活動紹介★



「白樺マル健クラブ」 ～東雲小学校4年生総合学習“視覚障害体験”～

これまで“白樺マル健クラブ”は、東雲小学校(視聴覚室/体育館等)を会場に、年間8回程度開催し、地域の皆さんの介護予防と東雲小学校4年生総合学習との地域交流事業を行ってきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染予防のため、交流事業を実施することができませんでした。

そんな中、東雲小学校よりお声がけいただき、マル健クラブにて4年生と交流予定であった総合学習の時間帯を利用し、子どもたちに「地域には高齢者や障害のある人等、色々な人たちがいることについて体験を通して知ってほしい」と、福祉教育の出前講座を実施することとなりました。

1/15(金)2時間目の体験授業では、視覚障害について「探してみよう!身近なバリアフリーとユニバーサルデザイン」としてシャンプーや牛乳パックの凹凸や切込みを確認しました。その後の視覚障害体験では、アイマスクを着用した状態で ①白杖を使用して鈴の音を頼りに歩行する体験 ②食事/補助体験 ③「紙飛行機を折ってみよう」等の体験を実施しました。白杖歩行体験では、目が見えない状態で歩行してみても「怖い」「音を頼りに歩いたけれど思った場所と違った」といった感想が聞かれました。食事体験では、補助する人が「〇〇の方向にご飯があるよ」などとサポートすることで必要時のサポートができることを体験し、障害により大変なことや不便なこともあるけれど、周囲のサポートや工夫があれば大丈夫な場面も増えることを考えてもらう機会となりました。



「白樺マル健クラブ」 ～東雲小学校5年生総合学習“バリアフリー教室”～

1/15(金)3・4時間目の時間、東雲小学校5年生の皆さんと一緒に“バリアフリー教室”を実施しました。

5年生は、昨年度の4年生の時に“白樺マル健クラブ”で地域交流を通して一緒に活動してきた皆さん。1年ぶりに再会するとすっかり大きくなった姿にスタッフはなんだかうれしい気持ちになりました。この日は、“高齢者疑似体験”と“車いす体験”を行い、体験を通して、“大変なんだな”ということを実感し、他の人に対する思いやりを育む機会となりました。みなさん、とても積極的に体験に参加し、車いす体験では介助する側の皆さんの「動きますよ～」等の優しい声かけがあちこちで聞こえていました。車いすの操作もとても上手で真剣な表情で取り組む様子が印象的でした。

車いすでの段差を乗り越える方法をみんなで体験したよ!

「ちょっとしたコツをつかむと上手にできたよ～」。

車いすに乗っているお友達からは、ドキドキ「おお～怖かった～」との声が聞かれ、声かけの大切さを実感していました。



東雲小学校の先生方とは、これまで何度も打ち合わせを重ねさせていただきながら、3/16(火)実施予定の6年生との最後の授業に向け準備中です!



3/16(火)には、東雲小学校6年生の皆さんと一緒に、“福祉教育”第三弾!として“認知症キッズサポーター養成講座”と、“キャリア教育”の授業を行う予定です。“白樺マル健”クラブで4年生の時に一緒に活動から始まり3年間を通し、関わらせていただいた6年生と先生方との授業を楽しみにしています!